



The 14th annual Meeting of the Japanese Society
for Veterinary Regenerative Medicine

日本獣医再生医療学会

第14回 年次大会 抄録・プログラム集

アットビジネスセンターPREMIUM 新大阪 2019年 2月 2日(土) 3日(日)

ご家族に笑顔が届けられる細胞療法を実施するには

ー みんなで考えようー



《主催》 一般社団法人 日本獣医再生医療学会

《大会長》 稲葉俊夫（大阪府立大学名誉教授）



The 14th annual Meeting of the Japanese Society
for Veterinary Regenerative Medicine

日本獣医再生医療学会

第14回 年次大会 抄録・プログラム集

アットビジネスセンターPREMIUM新大阪 2019年 2月 2日(土) 3日(日)

ご家族に笑顔が届けられる細胞療法を実施するには

ー みんなで考えよう ー



日本獣医再生医療学会のロゴマークは 動物由来胚性幹細胞
の起源となる胚盤胞期胚をイメージ化したものです

懇親会のお知らせ

第 1 日目 18:30 から<911>第 2 会場におきまして懇親会を企画し、ささやかながら軽食とお飲物をご用意しております。皆様、お誘いあわせの上、お気軽にご参加ください。

[会費] 5,400 円(会員・非会員共通) ※当日受付もごさいます

目次

●2019 年 2 月 2 日(日曜日)第 1 日目

大会概要	-2-
プログラム	-4-
経路案内図	-6-
培養技術講習会	-8-
学会会場フロアー / 培養実習会場 案内図	-11-
910 号室：ポスター展示及び企業展示ブース配置図	-12-
企業展示ブース 出展企業一覧	-13-
ポスター展示一覧	-14-
ポスター①～⑰	
大会長開会挨拶	-33-
学会顧問挨拶	-34-
出展企業 CM	-35-
学術倫理基礎講習会 I 第一部	-36-
学術倫理基礎講習会 I 第二部	-38-
学術倫理基礎講習会 II	-40-
症例検討会	-41-
演題①～⑤	

●2019 年 2 月 3 日(日曜日)第 2 日目

徹底討論 I	-52-
徹底討論 II	-53-
学会発表会	-55-
演題①～⑤	
ランチョンセミナー	-66-
総会	-67-
記念講演	-72-
国際交流	-74-
ガイドライン・届出制度	-78-
学会賞表彰・閉会の辞	-87-
掲載広告一覧	-88-
企業広告(5 社)	

大会概要

大会名	日本獣医再生医療学会 第 14 回年次大会 The 14th Annual Meeting of the Japanese Society for Veterinary Regenerative Medicine
主催	一般社団法人 日本獣医再生医療学会 The Japanese Society for Veterinary Regenerative Medicine
協賛	アニコムホールディングス株式会社、大阪ハイテクノロジー専門学校、株式会社アスコ、株式会社インターズー、株式会社 J-ARM、株式会社ファームプレス、株式会社ワールドエクイップス、共立製薬株式会社、獣医医療開発株式会社、昭和セラミックス株式会社、セルトラスト・アニマル・セラピューティクス株式会社、DS ファーマアニマルヘルス株式会社、日本全薬工業株式会社、富士フイルムメディカル株式会社、森久保薬品株式会社、リードエグジビションジャパン株式会社
開催期間	2019 年 2 月 2 日(土)、3 日(日)
開催会場	アットビジネスセンターPREMIUM 新大阪 大阪ハイテクノロジー専門学校
大会長	稲葉俊夫/理事長 (大阪府立大学)
実行委員長	横山篤司/副理事長 (さくら動物病院)
副実行委員長	牛草貴博/常務理事 (動物再生医療センター病院)
実行委員	伊藤裕行/常務理事 (刈谷動物病院市川橋病院) 上田忠佳/理事 (DS ファーマアニマルヘルス株式会社) 枝村一弥/常務理事 (日本大学獣医外科学教室) 竹根幸生/常務理事 (株式会社 J-ARM) 萩森健二/理事 (かもがわ動物クリニック) 鳩谷晋吾 (大阪府立大学先端病態解析学領域) 久末正晴/常務理事 (麻布大学小動物内科学研究室) 平野由夫/常務理事 (ひらの動物病院) 福田威/幹事 (セルトラスト・アニマル・セラピューティクス株式会社)
スーパバイザー	太田亟慈/常務理事 (犬山動物総合医療センター)
ホームページ制作	平野由夫/常務理事 (ひらの動物病院) 製作 SITE : 日本獣医再生医療学会第 14 回年次大会ホームページ
問合せ先	一般社団法人 日本獣医再生医療学会事務局 〒174-0001 東京都板橋区小豆沢 2-9-19 株式会社タスプ内 TEL:03(6279)8290 FAX:03(6279)8291 E-MAIL:info@jsvrm.jp

日本獣医再生医療学会 第14回 年次大会

プログラム一覧

<お願い> 初めてご来場の際には、まず受付をお済ませください

2019年2月2日（土）					
<910> 展示会場		<905> 第一会場		大阪ハイテクノロジー専門学校 実習室	
12:30	受付開始（場所：新大阪トヨビル9 F：アットビジネスセンターPREMIUM新大阪）				
		12:50	大会長開会挨拶 ◆稲葉俊夫（大阪府立大学）	（細胞培養実習ご参加のみなさへ） 最初に新大阪トヨビル9 F受付までお越しください	
13:00	ポスター発表閲覧/協賛企業展示	13:00	学会顧問挨拶 ◆石田卓夫		
		13:15	出展企業 CM		
		13:40	学術倫理基礎講習会 I 第一部		
		14:10	第二部		
			再生医療を行う前にやるべきこと →トラブルを回避する為の倫理とインフォーム ◆牛草貴博 福田成 （動物再生医療センター病院） 細胞治療の実用化に向けた取組み ◆久保雄昭（セルトラスト・アニマル・セラピューティクス株式会社）	14:00	培養技術講習会 I 細胞培養入門実習 —細胞培養の基礎からテクニックを磨く— ◆上田忠佳 （DSファーマアニマルヘルス株式会社）
15:00	ディスカッションタイム	15:00	コーヒーブレイク	協賛：株式会社J-ARM 大阪ハイテクノロジー専門学校	
15:20	（ご発表者はポスター前で待機をお願いします）				
	ポスター発表閲覧/協賛企業展示	15:20	学術倫理基礎講習会 II 腫瘍免疫の基礎と応用 免疫チェックポイント阻害剤を用いたイヌ腫瘍治療の試み ◆前川直也 （北海道大学）		
16:30	ディスカッションタイム	16:30	コーヒーブレイク	18:00	
16:50	（ご発表者はポスター前で待機をお願いします）				
	ポスター発表閲覧/協賛企業展示	16:50	症例検討会（発表8分 質問5分） 座長：久末正晴（麻生大学）		
		16:50	免疫介在性溶血性貧血への他家間葉系幹細胞治療を行い 有効性を認めた猫の一症例 ◆石川浩三 （中の道動物病院）		
		17:03	椎間板ヘルニア手術症例における 脂肪幹細胞投与時の血中VEGFの推移 ◆服部峻佑 （まさき動物病院）		
		17:04	慢性腸症を呈した犬に 既存治療と他家脂肪幹細胞治療を併用し奏功した一例 ◆桂田樹明 （イオン動物病院）		
		17:17	他家脂肪由来幹細胞移植を行った 免疫介在性溶血性貧血と糖尿病を併発した犬の1例 ◆高木良平 （高木動物病院）		
		17:18	1歳で発症した両側性水腎症に 脂肪幹細胞療法を実施した猫の1例 ◆須藤寿延 （南ヶ丘動物病院）		
		17:31			
		17:32			
		17:45			
	17:46				
18:00		17:59			
		18:00	懇親会ご案内・ご連絡		
		18:30	懇親会		
		20:30	会場：<911> 第二会場		

ポスター発表 演題一覧(2019年2月2日(土) 3日(日))

番号	演題	発表者	所属
1	イヌおよびネコ間葉系幹細胞の分離とグルタミン量のモニタリングによる品質評価	三谷康介	株式会社 J-ARM
2	結核菌抗原を「人工ネオアンチゲン」として提示したエクソソームによる腫瘍治療効果の検討	杉浦寛久弥	大阪府立大学
3	犬の多血小板血漿(PRP)の調製法の違いによる性状比較	米田博人	日本大学
4	犬の骨髄間質細胞由来ニューロン様細胞の神経伸張能および神経因子の発現解析	枝村一弥	日本大学
5	イヌ骨髄由来間葉系幹細胞から肝細胞様細胞へのダイレクトリプログラミング	新田卓	麻布大学
6	犬皮下脂肪由来間葉系幹細胞(cADSC)の静脈内点滴投与における安全性の検討	新田卓	麻布大学
7	犬におけるセルザイク投与安全性試験	松永拓也	麻布大学
8	犬の乾性角結膜炎における間葉系幹細胞を用いた治療法についての検討	鳥居こす恵	セルトラスト・アニマル・セラピューティクス株式会社

2019年2月3日（日）

<910> 展示会場		<905> 第一会場		<911> 第二会場	
9:00	受付開始（場所：新大阪トヨタビル9 F：アットビジネスセンターPREMIUM新大阪）				
9:20	ポスター発表閲覧/協賛企業展示	9:20	徹底討論 I 幹細胞療法の限界!? ～失敗症例をもとに考える～ ◆横山篤司（さくら動物病院） ◆鳩谷晋吾（大阪府立大学）	9:20	培養技術講習会 II 細胞培養入門 / 培養の歴史から ～操作の意味～ ◆上田忠佳 （DSファーマアニマルヘルス株式会社） 協賛：株式会社J-ARM 大阪ハイテクノロジー専門学校
		10:00	徹底討論 II 伴侶動物と暮らすご家族から見た 活性化リンパ球移行療法を考える ◆平野由夫（ひらの動物病院） ◆牛草貴博（関内どうぶつクリニック）		
10:40	ディスカッションタイム	10:40	コーヒーブレイク		
11:00	（ご発表者はポスター前で待機をお願いします）				
	ポスター発表閲覧/協賛企業展示	11:00	学術発表会（発表7分 質問4分） 座長：鳩谷晋吾（大阪府立大学）	11:00	培養技術講習会 III 細胞培養入門 / 培養の歴史から ～研究資源細胞バンクとしての品質管理～ ◆上田忠佳 （DSファーマアニマルヘルス株式会社） 協賛：株式会社J-ARM 大阪ハイテクノロジー専門学校
		11:00	セラチンハイドロゲルと組織修復因子を用いた		
		11:11	犬の褥瘡治療のパイロット研究 ◆藤本洋平（さくら動物病院）		
		11:12	脂肪由来幹細胞と薬剤徐放システムを用いた		
		11:23	新しい難治性疾患治療 ◆岸上義弘（岸上獣医科病院）		
		11:24	獣医再生医療への応用可能なiPS細胞作製方法の確立		
		11:35	◆塚本雅也（大阪府立大学）		
		11:36	高効率免疫アジュバントを用いた腫瘍免疫治療の検討		
		11:47	◆渡辺駿一（大阪府立大学）		
		11:48	間質血管細胞群(SVF)を用いた動物の再生医療について	11:50	
		11:59	◆大石達也（稲畑産業株式会社）		
		12:00	ランチョンセミナー 細胞治療の普及に向けて 協賛：セルトラスト・アニマル・セラピューティクス株式会社		
	12:50	総会			
	13:20	記念講演 「獣医再生医療の過去、現在、そして未来」 ～基礎研究そして、その先の臨床家のために～ ◆岸上義弘（岸上獣医科病院）			
14:10	ディスカッションタイム	14:10	コーヒーブレイク		
14:40	（ご発表者はポスター前で待機をお願いします）				
		14:40	国際交流 韓国の再生医療の現状 ◆李植翼（韓国建国大学） ◆李秀貞（(株)リゼニクス）		
		15:40	ガイドライン・届出制度 他家幹細胞実施報告について ◆枝村一弥（日本大学） ◆横山篤司（さくら動物病院）		
		16:10	学会賞表彰/閉会の辞		
		16:40	◆横山篤司（さくら動物病院）		

ポスター発表 演題一覧（2019年2月2日(土) 3日(日)）

番号	演題	発表者	所属
9	間葉系幹細胞療法の併用による犬の突発性慢性角膜上皮欠損の改善の1例	小山亮	こやま動物病院
10	標準治療と並行して間葉系幹細胞治療を行ったリンパ球形質細胞性鼻炎疑いのミニチュア・ダックスフンドの一例	増山浩一	あおぞら動物病院
11	間葉系幹細胞療法の併用による犬の慢性肝疾患の改善の1例	杉本太一	さくら動物病院
12	犬の糖尿病性角膜潰瘍に対して間葉系幹細胞療法を適用した1例	空純子	さくら動物病院
13	混合型肝細胞癌の不完全摘出後に活性化リンパ球療法のみを行った一例	鈴木克洋	つるまき動物病院
14	肛門癌腫および前立腺癌を併発した犬に対して樹状細胞療法および活性化リンパ球療法を実施した1例	堀啓吾	ハート動物病院
15	獣医再生医療での動物看護とバイタルモニタリング評価	小金沢綾	さくら動物病院
16	動物病院での間葉系幹細胞の筋肉内投与に関する検討	横関健昭	さくら動物病院
17	当院での液体空室細胞凍結保管の運用 - 実務、感温に利点と苦勞を交えて -	鈴木望由	ミズノ動物クリニック

会場案内図 I

J R新大阪駅 → 座学会場



経路QRコード
ご利用ください

異なる経路になる場合があります



① 新幹線新大阪駅中央出口を左へ。
アットビジネスセンターめざしてGO!



② 直進し、文楽人形を左へ



③ 正面口1Fへのエスカレーターを降ります



④ 正面口を出て右手へ向かいます



⑤ 左手の横断歩道を渡り、直進します



⑥ 北方領土の看板を右手に見ながら直進します



⑦ 横断歩道を渡り、陸橋をくぐります



⑧ 会場：トヨタビル 9F
新大阪正面口から200m 徒歩3分

会場案内図Ⅱ

座学会場 → 実習会場



経路QRコード
ご利用ください

異なる経路になる場合があります



⑨ いざ実習会場へ！



⑩ J R新大阪駅方面へ進みます



⑪ J R新大阪駅構内に進みます



⑫ 正面口から、北口に向かいます



⑬ 北口を左手に進みます



⑭ エレベーター・エスカレーターで1Fへ



⑮ 北口を出て右手へ進みます



⑯ 実習会場到着
大会場から600～750m 徒歩11～14分

培養技術講習会

協賛：大阪ハイテクノロジー専門学校、株式会社 J-ARM

●2月2日(土曜日) 第1日目 14:00～18:00『細胞培養入門実習』

実技講習(無料)にて細胞培養の基礎からテクニックを磨く 先着40名(受付先着順)
(会場：大阪ハイテクノロジー専門学校実習室)

●2月3日(日曜日) 第2日目 09:20～10:40『細胞培養入門/培養の歴史から』

- 操作の意味 -

(会場：アットビジネスセンターPREMIUM 新大阪 911 第2会場)

●2月3日(日曜日) 第2日目 11:00～11:50『細胞培養入門/培養の歴史から』

- 研究資源細胞バンクとしての品質管理 -

(会場：アットビジネスセンターPREMIUM 新大阪 911 第2会場)

担当講師挨拶ならびに実習内容紹介



DS ファーマアニマルヘルス株式会社
池田動物細胞医薬センター主席部員
tadayoshi-ueda@ah.ds-pharma.co.jp

上田 忠佳

みなさんの細胞培養は、作業になっていませんか？

細胞は生命体ですので、化学合成品などのように単に作業を行っているだけでは良好な結果を得ることが出来ない場合があります。普段何気なく行っている作業にも理由と注意しなくてはならない点があります。本実習では、細胞を『培い養う』ことが出来るように、主に各作業の意味を理解することを主眼置いて進めていきます。

担当講師プロフィール

1989年 大阪ハイテクノロジー専門学校生命工学技術科卒業
1989年 大日本製薬(株)ラボラトリープロダクツ部入社
2007年 DS ファーマバイオメディカル(株)ラボラトリープロダクツ部 (会社分割)
2012年 同社セルサイセンス事業本部研究グループ マネージャー
2014年 同社セルサイセンス事業本部細胞製造グループ マネージャー
2017年 同社製品管理部 副部長

所属学会/その他

日本再生医療学会 代議員 (培養士領域)
日本組織培養学会 評議員
日本獣医再生医療学会 理事

大阪医療技術学園専門学校臨床検査技師科 非常勤講師
大阪ハイテクノロジー専門学校 教育課程編成委員
日本再生医療学会認定 臨床培養士
日本組織培養学会認定 細胞培養士、細胞培養指導士

アットビジネスセンターPREMIUM 新大阪 会場案内図

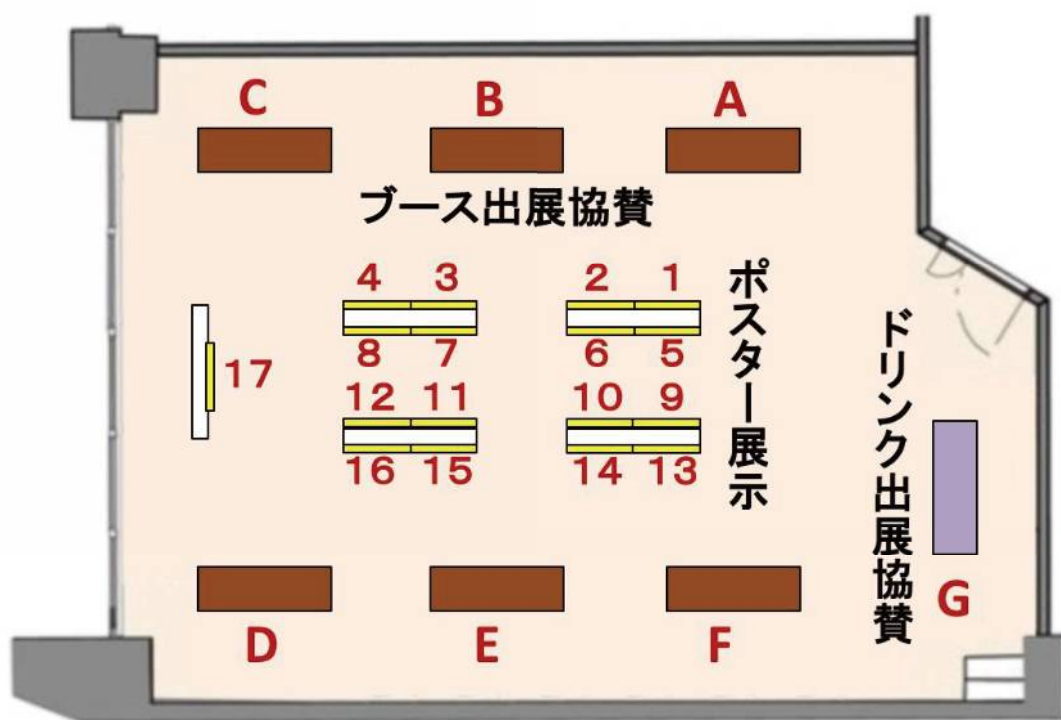


培養実習会場：大阪ハイテクノロジー専門学校

※施設内はスタッフがご案内いたしますので、会場1階受付にお尋ねください。



培養実習 詳細 ……………P8



910号室：ポスター展示及び企業展示ブース 配置図

※ポスター及び企業ブースの配置は変更になる可能性があります。

企業展示ブース 出展企業一覧

A	<p>日本全薬工業株式会社 担当：峯岸大介 (minegishi-daisuke@zenoaq.jp)</p> <p>平素より大変お世話になっております。弊社ブースに於きましては、弊社独自に開発製剤化致しました、犬アトピー性皮膚炎用減感作療法薬アレルミューン®HDM と、犬腭炎急性期用抗炎症剤ブレンダ®Z を中心に展示しております。</p>	
B	<p>昭和セラミックス株式会社 担当：花野芳彰 (yoshiaki_hanano@shocera.co.jp)</p> <p>昭和セラミックスでは光触媒を始めとした吸着分解技術を応用したフィルタ製品の製造を行っております。室内環境改善など空気浄化を目的とした装置設計までカスタムオーダーにてお応えすることができます。今回は卓上型モデルの出展です。</p>	
C	<p>株式会社ファームプレス 担当：金山宗一 (info@pharm-p.com)</p> <p>「すべては小動物臨床のために」をモットーに、多くの学術書をはじめ、総合情報誌「MVM」や腫瘍専門雑誌「Joncol (ジョンコル)」、眼科専門雑誌「獣医眼科プラクティス」、1 テーマムック「ARCH (アーチ)」などを刊行しています。</p>	
D	<p>株式会社インターズー 担当：佐久間明美 (sakuma@interzoo.co.jp)</p> <p>『獣医再生医療 基礎&ステップアップ』(日本獣医再生医療学会 編)と、新刊『図版で理解する 犬と猫の麻酔・疼痛管理ハンドブック』(Jeff C. Ko 著, 北尾貴史監訳), 『小動物の神経疾患救急治療』(Simon Platt / Laurent Garosi 編著 徳力幹彦総監訳)などを展示いたします。</p>	
E	<p>株式会社ワールドエクイップス 担当：多田 峻 (shun@world-equip.com)</p> <p>私どもはイギリスの VetPlus というメーカーの栄養補助食品の販売代理店をしております。高齢の子に対する AKTIVAIT や抗炎症作用のある関節ケア SYNOQUIN など取り扱っております。是非、ブースにお立ち寄りください。</p>	
F	<p>D S ファーマアニマルヘルス株式会社 担当：島田浩二 (koji-shimada@ah.ds-pharma.co.jp)</p> <p>展示ブースでは弊社製品の「犬骨関節炎症状改善剤『カルトロフェン・ベット注射液』」や「FQ 製剤『ビクタス S』」などのご紹介をさせていただきます。ぜひお気軽にお立ち寄りください。</p>	
G	<p>株式会社 J-ARM 担当：岩崎嘉代 (iwasaki@j-arm.com)</p> <p>獣医療においていち早く再生医療の導入支援や細胞培養する試薬の販売を行っている J-ARM です。今年度は 2 個の新しい細胞を培養するキットも販売開始いたしました。①KC キット (NK 細胞) ②DC10 キット 詳細情報はブースにお越しいただければと思います。</p>	